



学校教育推進室だより

東大阪市教育委員会 学校教育推進室 平成 24 年 9 月 4 日
〒577-8521 東大阪市荒本北一丁目 1 番 1 号 TEL06 - 4309 - 3268

- 東大阪市学校教育基本目標
すべての子どもに生きる喜びとあすをつくる力を
- 東大阪市学校教育重点目標
学校園の活性化と確かな学力の育成
総合的視点に立つ教育の推進、人間尊重に徹した人権教育の実践、
信頼に応える学校園経営、学校園・家庭・地域の協働

東大阪市立総合病院にある『院内学級』 こまどり学級・わかくさ学級



入院中の小・中学生に教育を受ける機会を提供するために、東大阪市立総合病院内には『院内学級』（小学校：こまどり学級 中学校：わかくさ学級）があります。

入院時には、病気・怪我を治療することがまず大切ですが、同時に入院生活に耐え抜く精神力をもち、健康回復に取り組むとともに、自らの可能性を伸ばしていくことも大切です。そうした目的のもと、入院中の児童・生徒を対象に、主治医の承認のもとに学習を進めています。教科書や教材は、学校で使用していたものを使って学習するので、退院後の学習へスムーズにつなぐことができます。東大阪市立総合病院に入院中の小・

中学生は、主治医の承認が得られれば、誰でも入級できます。（その際には意岐部小学校・意岐部中学校の在籍となります）

『院内学級』では、病院側の協力と深い理解を支えに、楽しい雰囲気の中で、気持ちの安定を一人ひとりの子どもたちの病気の状態を考えた学習を病気に負けない強い子どもをめざしています。



明るい雰囲気の中で過ごすことができます！

院内学級 H P

入級をご希望される場合は、以下の学校にご相談の上、手続きをお願いします。

学校名	東大阪市立意岐部小学校	東大阪市立意岐部中学校
学級名	こまどり学級	わかくさ学級
TEL	(06)6781-2900	(06)6788-1875

<http://www.city.higashiosaka.lg.jp/0000002374.html>

新学習指導要領全面実施！ 創意工夫ある授業の実践を！

8月23・24日、東大阪市・八尾市・柏原市3市合同中河内地区教育課程研究協議会が、各教科や道徳・総則などの領域に分かれて9会場、27部会で開催されました。

小学校では昨年度から、中学校では今年度から、新しい学習指導要領に則った指導が全面的に実施されています。文部科学省は今回の改訂において「次代を担う子どもたちが、これからの社会において必要となる『生きる力』を身に付けてほしい」という思いから、知識や技能の習得とともに思考力・判断力・表現力などの育成を重視しています。各会場では、新学習指導要領のねらいを踏まえた授業実践が報告され、新しい指導方法のあり方について、研究討議が行われました。また指導主事からは、報告に対する指導・助言とともに、文部科学省・大阪府教育委員会からの指導事項の伝達等がありました。

右の写真は、小学校社会科部会の様子です。3市から90人を超える教職員が参加しました。発表校からは『子どもがノってくる地図授業 ～二泊三日国内旅行計画の実践から～』というテーマでの報告がありました。『二泊三日の間に20都道府県を通過する。』『交通機関での移動時間、施設の営業時間などは実際のものとする。』などと設定された条件の下、子どもたちが各グループで地図帳・時刻表・ガイドブックなどを活用し、旅行計画を立てるといったものです。近隣の図書館や旅行代理店に行き、得た資料を持ち寄り、資料に掲載されている連絡先に直接電話をかけて情報を収集するなど、子どもたちが主体的に活動する様子や、旅行地図を活用してプレゼンテーションを行う様子が映像で紹介されました。子どもたちが作成した旅行地図には、都道府県の名前を覚えるだけでなく、位置関係や都道府県のつながりを意識しながら学び、考え、発見したことが表現されていました。



夏休みも終わりましたが、小中学校では本研修会の学びを活かした創意工夫ある授業が実践され、より多くの子どもたちの『生きる力』の育成と更なる成長が期待されます。

中学校生徒会交流会（7/11・8/23）が開催されました



特別活動における生徒会活動の充実を目的に、市立中学校の生徒会メンバーが集まり、各校の取組み交流「どうしてもっと学校がよくなるか」と、中学校生徒会交流会としての被災地支援「募金活動をどうしていくか」をテーマに、2日間にわたる熱い交流会が行われました。

●第1回の交流会(7/11)

「他校の実践に学ぼう」と各校の取組みの発表を行い、その中から11月に行われる大阪府生徒会サミットの代表校を選考しました。今年度は盾津東中学校に決定しました。盾津東中学校には、自校の取組みはもちろんのこと、東大阪市の生徒会交流会の取組みを発信するとともに、府内の様々な取組みから学んだことを持ち帰り、自校及び東大阪市の生徒会活動の活性化につなげてもらえることを期待しています。



また他校の生徒どうしが交じり合うグループの中で、「どうしてもっと学校がよくなるか」という課題について、KJ法を使いながら活発な意見交流が行われました。そして、第2回目の交流会に向けて、「募金活動をどうしていくか」の具体的な方法や考え方等について、各校で話し合ってくるという課題が出されました。



●第2回の交流会(8/23)

はじめに意岐部中学校の先生が話され、昨年度、26中学校がひとつになった東日本大震災の支援活動「HEART TO HEART」の取組みについて振り返りました。続いて震災復興ボランティアに行かれた孔舎衛中学校の先生が被災地の現状と、今、被災地で何が求められているのかを映像等を交え話されました。被災された方からの「復旧(必要最低限)はしたが復興(文化的生活)はまだまだかかる」というお話を聞き、その後行われた「どのように募金活動をしていくか」の話し合いの中でも、生徒たちの中から「買い物ついでにお釣りを集めるのではなく、被災地に今一番何が必要かを知ってもらった上で募金してほしい」という声があがっていました。こういった声を集約し、昨年度と同様に数校ずつグループに分れ、募金の方法を考えて取り組むことになりました。

